

米国における保健体育カリキュラム改訂の動向 －保健と体育の関連に着目して－

植田誠治

(聖心女子大学現代教養学部教育学科)

はじめに

- ・ 保健体育科教育における保健と体育の関連の検討は、古くて新しい課題である
- ・ 米国では、2015年12月連邦政府・初等中等教育法に、保健と体育の両方が主要な教科として位置づけられ、それ以降、保健と体育の関連を積極的に検討する動きが認められる。本研究では、その動向を明らかにする。

変遷

1990年代：児童生徒の高いレベルの学業達成のための新しい教育戦略、ツール、資料などの必要性の機運と教育政策のリードにより、芸術、国語、理科、体育など様々な教科の背景にある学問分野において、児童生徒が何を知り、何をできるようにするかを特定するスタンダード(基準)が作成される

1995年：保健もこの流れの中で、1995年に米国がん協会がスポンサーとなり、3つの学会の合同委員会により、National Health Education Standards（以下、NHES）が作成される(2007年に改訂版作成)

2010年代後半～2020年代前半：すべてを学ぶには、現実的に時間がないという問題も指摘されるが、その後保健ではNHESを参考にしながらニュージャージー州、カリフォルニア州、マサチューセッツ州をはじめ各州において、それまであった州の保健教育カリキュラムの見直しが進められる

2022～23年：米国保健体育教師協会（SHAPE America）は、保健のスタンダード（NHES）の著作権を取得し、体育と保健の両方のスタンダードを改訂する作業に着手。草稿案を示し、広く意見を聴取した

2024年（3月）：米国保健体育教師協会（SHAPE America）の年次大会にて体育と保健の両方の新しいスタンダードを公表した

ニュージャージー州におけるコアカリキュラムの一つとしての教科「総合保健体育」

- ニュージャージー州は、1996年に総合教育改善・財政法という教育内容の基準と学校財政制度を直接結び付ける制度を、全米で初めて制定
- その教育内容を保障するために、7つの教科領域からなるコアカリキュラムを制定
- 7つの教科領域は、視覚と舞台芸術、総合保健体育、数学、理科、社会科、外国語。教科ごとに、具体的な基準が設けられている
- 「総合保健体育」2020年に改訂（改訂は通常5年ごと）



「総合保健体育」の目的、意図、スピリッツ等

- すべての児童生徒が質の高いK-12の系統的な保健体育プログラムに参加することにより、21世紀のスキルと学際的なつながりを強めて、健康でアクティブなライフスタイルを送ることができる
- 健康的な行動を促進し、影響を与える概念習得とスキルを発達することで構成
- すべての児童生徒は、健康リテラシーと身体的リテラシーを持ち、健康的な生活を追求する人になるよう、最も重要な知識とスキルを習得する。そして、家族、学校、地域社会にプラスの影響を与える健康で生産的な生活を送るために必要な習慣を身につける

「総合保健体育」で求める人材像

- ・メンタルヘルスへの意識を維持し、社会的/感情的支援システムを用いる
- ・身体的に活動的なライフスタイルをとる
- ・健康とウェルネス、そして関係する資源へのアクセス方法への意識を維持する
- ・健康製品および健康サービスの消費者として、情報に基づいた健康に関連した決定を行う際のメディア、仲間、技術、および文化的規範の影響を認識する
- ・効果的な異文化コミュニケーションと紛争解決スキルを実践する
- ・健全な人間関係を築き、維持する
- ・個人や文化の違いを受け入れ、尊重する
- ・個人、家族、コミュニティ、および地球規模の健康を擁護し、地域、国、および世界の公衆衛生および気候変動の問題を認識する

「総合保健体育」の3つの柱

- ・ 個人の健康とメンタルヘルスに関すること
- ・ 身体のウェルネスに関すること
- ・ 安全に関すること

「総合保健体育」の内容（その1）

- ・ 個人の健康とメンタルヘルスに関すること（5領域）
 - ・ Personal Growth and Development（発育・発達）
 - ・ Pregnancy and Parenting（妊娠と育児）
 - ・ Emotional Health（心の健康）
 - ・ Social and Sexual Health（人間関係とセクシュアリティ）
 - ・ Community Health Services and Support（地域保健サービスとサポート）

「総合保健体育」の内容（その2）

- 身体のウェルネスに関すること（4領域）
 - Movement Skills and Concepts（動作スキルと概念）
 - Physical Fitness（体力）
 - Lifelong Fitness（生涯を通じる体力）
 - Nutrition（栄養）

「総合保健体育」の内容（その3）

- ・ 安全に関すること（4領域）
 - ・ Personal Safety（個人の安全）
 - ・ Health Conditions、 Diseases and Medicines（健康状態・病気・薬）
 - ・ Alcohol、 Tobacco and other Drugs（飲酒・喫煙・その他の薬物）
 - ・ Dependency、 Substances Disorder and Treatment
（依存性・物質障害および治療）

* 全体を通して・ Comprehensive Health and Physical Education Practices（総合的な保健と体育の実践）

・ Standards in Action: Climate Change（気候変動への行動規準）

「総合保健体育」のフレームワーク

- 1) K-2
 - 2) 3-5
 - 3) 6-8 (日本の中学2年生)
 - 4) 9-12年生 (日本の高校3年生) に分けて整理
- ・ 学術的な概念を「コアアイデア (Core Idea)」として示すとともに、学習の成果として期待される行動を「期待されるパフォーマンス」として明示

(例) ・個人の健康とメンタルヘルスに関すること

・発育・発達（8年生の終わりまで）

【コア・アイデア】 ・行動に関わる責任ある行為は、自分自身や他人の発達と健康に影響を及ぼす可能性がある

【期待されるパフォーマンス】 ・健康的な行動と個人の健康との関係を分析する

・妊娠と育児（12年生の終わりまで）

【コア・アイデア】 ・妊娠や性感染症の予防には、個人が使用できる様々な戦略がある

【期待されるパフォーマンス】 ・避妊法と病気の予防法（例えば禁欲、コンドーム、緊避妊など）の利点と欠点を比較対照する

・意図しない妊娠および/または性感染症（HIVを含む）のリスクを排除または軽減するための計画を作成し、予防に対する潜在的な障壁を克服する方法を特定する

・妊娠やその他の健康に関する話題を質問したり話し合うために、家族、介護者、学校職員、医療の専門家など、信頼できる大人を特定する

特徴

- ・ 保健と体育の学際的なつながりを強調
- ・ 内容を、個人の健康とメンタルヘルスに関すること、身体のウェルネスに関すること、安全に関することの3つに整理
- ・ 学習の成果として期待される行動を「期待されるパフォーマンス」として明示
- ・ 基準（2014年のものから）に、国レベルの組織によって示された保健体育の現在の考え方を導入
- ・ 特にマイナーチェンジとして、国内と国際的な公衆衛生と安全の問題を追加

米国保健体育教師協会によるスタンダードの改訂

米国保健体育教師協会（Society of Health and Physical Educators – SHAPE America）がNHESに関わるすべての著作権を取得し、特別委員会により、2024年の発表に向けて、改訂作業を進めた。2023年に草稿案が示され、2023年3月から5月にかけてパブリックコメントが行われた。また、4月・5月にはオンラインでのタウンホール・ミーティングが行われ意見徴収が行われた

体育のスタンダードの改訂作業も同時期に行われ、2024年3月SHAPE Americaの年次大会において、保健と体育のスタンダードが発表されるに至った

改訂された2024スタンダード（基準）

保健のスタンダード

- 基準 1：機能的な健康情報を活用し、自分自身と他者の健康とウェルビーイングをサポートする
- 基準 2：自分自身と他者の健康とウェルビーイングに影響を与える要因を分析する
- 基準 3：有効で信頼できる資源にアクセスし、自分自身と他者の健康とウェルビーイングをサポートする
- 基準 4：対人コミュニケーションスキルを活用し、自分自身と他者の健康とウェルビーイングをサポートする
- 基準 5：意思決定プロセスを使用して、自分自身と他者の健康とウェルビーイングをサポートする
- 基準 6：目標設定プロセスを使用して、自分自身と他者の健康とウェルビーイングをサポートする
- 基準 7：実践と行動を実際に行い（デモンストレートし）、自分自身と他者の健康とウェルビーイングをサポートする
- 基準 8：自分自身と他者の健康とウェルビーイングを促進するよう権利擁護する

体育のスタンダード

- 基準 1：様々な動作スキルを発達させる
- 基準 2：運動とフィットネスの概念に関連する知識を応用する
- 基準 3：運動を通じて社会的スキルを発達させる
- 基準 4：個人のスキルを発達させ、運動の個人の利点を認識し、身体活動に参加することを選択する

- ・ K-2
 - ・ 3-5
 - ・ 6-8（日本の中学2年生）
 - ・ 9-12年生（日本の高校3年生）
- に分けて具体的な学習指標（行動目標）を明示

マサチューセッツ州における 「総合保健体育」フレームワーク



- ・ 1999 年に作成されていた州の「総合保健フレームワーク」の改訂作業が進められてきた
- ・ 改訂プロセス：計画立案（2018年6月～10月）→改訂委員の募集（6月～11月）→改訂委員会の開催（学校管理職、保健教師、体育教師、看護師、医療者、公衆衛生学者など約45名が貢献し2018年12月～2019年6月に6回開催）→初等中等教育委員会による改訂作業（2019年6月～）（ここでの改訂作業について教育委員会は、アウトリーチを実施(2018年6月～2018年11月)、再考・改訂・委員会アクション（2018年12月～2020年冬）、改訂フレームワーク草稿案作成（2020年春～2021年夏）→パブリックコメント（2023年6月末～8月末）→草稿案修正（2023年7月～9月）→改訂フレームワーク承認（2023年9月）

特徴

- ・ 1999年のものとは大きく異なり、今回は「総合保健体育フレームワーク」示され、保健体育カリキュラムとして改訂
- ・ NHESの保健スタンダードとSHAPE Americaの体育教育ガイドを参考
- ・ 内容：ジェンダー・性的指向・セクシャルヘルス、健全な人間関係、精神的・情緒的健康、栄養とバランスの取れた食事、個人の安全、身体活動とフィットネス、身体健康と衛生、公衆衛生・地域保健・環境保健、薬物の使用と誤用の9つを、4つの学年段階で明示

おわりに

- ・保健と体育のフレームワークをこれまで別に開発してきたカリフォルニア州においても、例えばサンディエゴ学区では、SHAPE Americaでのカリキュラム改訂動向が2024年4月の保健体育のニュースレターで紹介され、州法の要件を満たしつつ、学習を有意義なものとするよう応用する重要性が示された
- ・米国における今回みたような動向の検討は、保健体育科、体育科（運動領域・保健領域）という教科形態を持つ本邦への示唆を得るうえで、意義あることと思われる。

参考文献

- 1) 植田誠治. アメリカ最新「保健 体育」情報 トピック. 体育科教育、64：56. 2016
- 2) 植田誠治. 世界との比較で保健教育をどうみるかー米国と英国の動向からみた課題と解決の方向性一、学校保健研究、63：175 - 180. 2021
- 3) State of New Jersey Department of Education. 2020 New Jersey Student Learning Standards - Comprehensive Health and Physical Education, 2020 https://www.nj.gov/education/standards/chp/Docs/2020_NJSLS-CHPE.pdf (2021年6月29日閲覧)
- 4) 植田誠治. 米国ニュージャージー州におけるコアカリキュラム 基準の一つとしての教科「総合保健体育」の動向. 日本学校保健学会第67回学術大会、2021
- 5) National Health Education Standards Task Force. National Health Education Standards - Draft Standards, Rationale and Performance Indicators-, SHAPE America, 2023 https://www.shapeamerica.org/MemberPortal/standards/health/NHES_Task_Force.aspx (2023年3月30日閲覧)
- 6) Society for Health and Physical Educators, The Future of National Standards in Health and Physical Education, Momentum, Winter 2024: SHAPE America, 2024
- 7) Society for Health and Physical Educators, 2024 National Health Education Standards, <https://www.shapeamerica.org/MemberPortal/standards/health/default.aspx> (2024年5月25日閲覧)
- 8) Society for Health and Physical Educators, 2024 National Physical Education Standards, <https://www.shapeamerica.org/standards/pe/default.aspx?hkey=fdd39329-263e-4d63-83ee-bc39b64d119c> (2024年5月25日閲覧)
- 9) Massachusetts Department of Elementary and Secondary Education. Massachusetts Comprehensive Health and Physical Education Framework - Grades Pre-Kindergarten to 12 (Public Comment Draft). 2023
- 10) Massachusetts Department of Elementary and Secondary Education. Comprehensive Health and Physical Education Framework <https://www.doe.mass.edu/stem/chpe/> (2024年5月25日閲覧)
- 11) 植田誠治. 米国カリフォルニア州における保健教育フレームワーク改訂の動向、日本保健科教育学会第5回研究大会、2020
- 12) Paige Metz. New National Standards = Big Changes, Health and Physical Education, San Diego County Office of Education. 2024 <https://myemail-api.constantcontact.com/April-Health-and-Physical-Education-Update.html?soid=1137455750478&aid=EwIaIwD007E> (2024年4月10日閲覧)